

# 道写協

## 北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内  
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)  
<http://www.dosyakyou.org/>

第117号

## 第五十九回写真道展審査員決まる

### ■審査委員長に志賀芳彦氏

去る七月二十日に開催された選考委員会(谷口勲夫、片村洋市、斉藤ただし、河江利幸各氏)の意向を受けて、九月二日に行われた第二回実行委員会において、第五十九回写真道展の審査員が次のように決定しました。

- ・ 審査委員長は志賀芳彦氏
- ・ 招聘審査員には岸本日出雄、野呂希一の二氏が新たに決まりました。
- ・ 奨励賞選考委員は志賀芳彦、武藤省吾、田嶋英夫、田村健太郎、大崎和男、中野潤子、川人正善(道新写真部長)の各氏に、今年から新たに斉藤ただし、山下智、工藤二男氏が加わって計十名です。
- ・ 当番審査員は「審査体制Bグループ」の中川祐治、伊藤重利、河江利幸、西野徳義、吉江和幸、佐藤武治、本郷正利、内山明子、

阿部昭夫、和泉拓男、阿部悦子、福田光男、宮川恵子、滝野邦保、高橋和幸、石島忍、塩谷洋次、平形秀哉の各氏です。総勢三十名の審査となります。

### ■招聘審査員の紹介

- ・ 岸本日出雄氏  
広告雑誌を中心にモデルから自然、野生動物まで幅広く撮っている。現在「札幌コマーシャルフォト」代表、APAJ日本広告写真家協会会員。
- ・ 野呂希一氏  
日本各地の自然風景や函館の街並みなど自然と人との関わり合いにカメラを向けている。

現在函館にて「写真工房」主宰。

## 第五十九回 写真道展にむけて



志賀芳彦  
審査委員長

### ■価値あるイメージは 作者の心の眼で

写真道展は、このたびで第五十九回を迎えることになり、私は今回で四度目の審査委員長を仰せつかり、この大役を果たせるよう努めたいと思っております。写真道展も長い歴史と共にさまざまに変化してまいりました。

第四十七回では、組写真が廃止となり、応募作品はすべて単写真となりました。私たちの写真活動をする回りには、あらゆる写真業界があり、新しい時代に進展させていますが、写真活動もその流れに振り回されているような気持ちになる時もあります。

本年第五十八回の写真道展の応募点数は、五一八九点であり、凡そ六十%がインクジェット作品でした。

デジタルカメラを実際に使ってみると、想像以上に機能がありますが、撮った写真のデータは多くの場合コンピューターに取り込んで作業をコントロールします。

その試行錯誤の結果一枚の作品が出来るのですが、モノクロ時代の暗室作業と変わらない思いです。

高度なデジタルカメラ時代になっても、カメラは作者のイメージまでは図れません、価値あるイメージはあなたの心の眼で創り出してほしいものです。

公募される作品について一言述べておきます。二重応募、類似作品を他部門へダブリ出品などがあり、審査で見落す事もあり、発表後でも判明した場合は賞は取り消しとなりますが、写真活動をする者のモラルであり、絶対に止めていただきたいと思えます。

応募規定や各部の応募については、担当審査員の説明が掲載されていますのでご覧下さい。

### 《略歴》

- 一九二九年北海道オホーツク沿岸生れ
- 一九五五年上川町に移住
- 一九七四〜七六年タイムライフ社特写《著書》
- 一九七三年写真集「大雪」
- 一九七八年写真集「白い太陽」
- 《受賞》
- 一九六八年〜六九年厚生大臣賞「一回」
- 一九七四年日本写真協会賞「年度賞」

JPS会員

北海道写真協会写真道展審査員

## 私が期待する写真 道展審査員から

### 第一部 自由

■大崎和男

#### 人目に立つ作品を

震災、放射能、TPP、そして増税と激動する社会情勢の中で美術関係の公募展は軒並み応募者が激減している、そのなか第五九回写真道展が近づいてきた。

特色がなくなってきた今、どこの公募展も豊かな感性と新しい表現力を求めている。第一部(自由)私の期待する作品だが暗い世相のなか明るく楽しい作品に出会いたい。

写真創りは遠くへと外部に目をむける傾向がある。目に一番近い「まつげ」みたいなもの、身近なものが見失われている。原点にかえり身の回りを見詰めなおすことも肝要である。写真は光と陰が基本だが、笑いと泣き、老いと若さ、厳しさと楽しさ、そして造形、芸術的表現などすべて主役を生かす脇役の扱いに心血を注ぐことだ。

過去の秀作、類似作品は避けた方が得策である。自由な発想が二番煎じにならない秀作を生む。公募展に入・落はつきもの、第一部、第二部、第三部の分類を良く確かめて、新しい感性で写真を楽しもう。五感響く人目に立つ強い作品を望んでいる。

### 第二部 観光・産業

■佐藤武治

#### 観る人の意欲を誘う作品を

近年、海外及び国内より多くの観光客が訪れ、名所地にはカメラマンで賑わう魅力のスポットでもあります。

一味違う写真を物にしようと思えば、被写体捜しカメラアイなど、人の数倍も執拗にせまる努力も要します。長年住み慣れた我が街には、豊かな人々の暮らし、楽しい祭りや風物など、魅力ある被写体が点在しています。第五六回二席「マレーシアの若者」、第五八回二席「神の魚」のように、観光写真には斬新で、喜びや楽しさなど、観る人の意欲を誘うような写真を望みます。漁業では、漁船の出漁や、大漁に湧く浜の様子など、浜の四季と海と共に生きる

住民たちの息づかいなどが表現された写真など、第五六回一席「黒いダイヤ」のように、生き生きとした水産に魅力を感じる写真を望みます。

農業では、美しい田園風景、春耕、作物の植えつけ、秋の収穫の喜びなど季節的表現の写真を、最近、農業に関わる力作が見受けられません、今回はここがひとつのポイントに期待しております。

開発では、近年非常に厳しい状況下におかれており、写真的には題材に恵まれない部門と思います。第五七回大賞一条放水、第五八回大賞夜の大橋と工場群など、厳しい撮影条件のなかで、二年連続大賞に輝いております。他人の真似でなく常に創作意欲、自己研鑽の上、観る人が感銘をうける快心作品を望みます。

### 第三部 ネイチャーフォト

■平形秀哉

#### 遠方への撮影にこだわらず

五十年の歴史を積み重ねた写真道展の三部門の中で、最も北海道を表現するのがこの部門でないでしょうか。北海道の大地に繰り広げられる、四季の営みは日

本国の中でめりはりのついた刺激的で変化に富み、人間を大きくいだいて活気あふれて日時をめぐっている。人間と共に生き抜く動物、植物の自然現象の中の姿は常に魅力に満ちていると思います。それらの有り様を、今私達の持っている感性を神経を少し蜜に働かせて集めてみてはどうでしょうか。遠方への撮影にこだわらず、身近な範囲でも良いので現実の自然の中に入り観察するという「童心」に返って見たらいかがでしょうか。科学や経済の恐ろしい程の前進に人間は何かを忘れて来つつある気がします。時の流れの中で立ち止まる事は危険で危うい事なのかも知れないが、この時期こそ自然の営みの中に、人間回復出来る事柄を発見して、ホット一息ついて明日に向かって良いのでないだろうか。

日常生活の中で起きている現象や変化をメモする様にチェックして見ると意外と新しい発見に胸おどるものと思います。写真を愛して楽しむ私達はいつまでも夢を見続けて表現して行けたらと思います。希望にあふれたシーンが皆で共鳴出来ればと思います。気負わず、自然に、情熱を持って。

# 支部探訪ー栗山

支部長 黒田 幸則

## 歴史を刻んで

栗山支部は昭和三十年四月二日に設立し、平成十七年に五十周年を迎えて記念展を開催しました。この間、平成元年に作品集を発行しました。

現在の会員は十五名で、道展審査会員一名、道展会友一名、そして女性会員が四名います。本部登録の会員は七名で他は支部会員ですが、年三回の月例コンテストでは作品を持ち寄り、本部会員、支部会員の分け隔てなく審査を受け、お互い刺激し合います。

## 様々な支部行事を企画

写真展は年四回、季節ごとに図書館ギャラリー展があり、うち二回は「くりやま」と題して八月のお盆の頃に開催しています。展示の内容も栗山町在住の詩人友田多喜雄氏とのジョイ



図書館ギャラリー展

ント展や個展、三人展、女性だけの写真展などバラエティに富んだ写真展を企画し、町民の方々の好評を得ています。

ほかに「くりやま芸術祭」にも出品していますが、芸術祭では体験コーナーを設け、デジタルカメラで撮影した画像について、パソコンを使って指導もしています。

撮影会は春・秋・冬の年三回、道内各地に出かけ撮影の指導を受けますが、行く先々で道の駅に寄ったり、温泉に入ったりと撮影以外の付録がついていることも楽しみの一つです。

また、忘年会も皆さんが楽しみにしている行事で、毎月の例会以上に参加者が多く、写真談義に花が咲きます



支部忘年会風景

## 道央文化展写真部展のこと

栗山支部を語るに外せないこと。それは昭和四十年から五十九年までの二十年間に渡り

「道央文化展写真部展」を開催したことです。近隣の市町村の写真団体に呼びかけ、全紙大の大型パネル印刷による公募展を企画開催しました。当時としては道内でも例がなく、珍しいことだったと思います。また、第二回展から第二十回展まで恒例となった故及川清治郎氏による会場での公開審査も成功の一つと感じます。昭和六十年からは「道央写真展」として恵庭支部に引き継がれましたが、栗山支部の支部史は、この道央文化展写真部展から始まったと言っても過言ではないでしょう。

最後に作品集の題となりました「写真へのこだわりとすばらしい仲間たち」をモットーに作品づくりをしていきたいと思えます。(事務局 斎藤優子 記)

## 事務局便り

### 規約改正検討委員会の開催

九月二十八日(水)、「北海道写真協会規約」改正の検討委員会が開催されました。

委員の構成は、審査会員・会友から工藤二男(釧路)、佐々木昇(室蘭)、志賀芳彦(旭川)、吉江和幸(函館)、公務員から武藤省吾、本郷正利、中野潤子、大平博雄、事務局から本間俊、秋庭彰徳。

規約改正の骨子は

- ① 審査会員・会友の会費値上げ
- ② 名誉顧問、顧問の明文化。事務局次長の新設
- ③ 写真協会からの会長選出、任期の限定。
- ④ 写真道展実行委員会に道新文化事業社を加える。

各項目について、各委員から貴重な意見が出されました。この結果を踏まえて、役員会で協議の上、平成二十四年五月の支部長会議に

提案し、承認されれば平成二十五年五月より施行されることとなります。

### 第六十回写真道展記念事業内容(案)決まる

十一月二十二日(火)、第二回実行委員会(委員長・志賀芳彦)が開催されました。会議で次のとおり事業骨子が決まりました。

- ① 「審査会員・会友展」の開催
  - ・ 開催日は、平成二十五年五月十四日～十九日(六日間)
  - ・ 会場を大通美術館とし、公募展との同時開催とする。
  - ・ サイズ、テーマは例年の作品展と同様。出品料五千円、返却料二千円(希望者)
- ② 「作品集記念誌」の作成
  - ・ 三十回展～六十回展までの道展記録(各回展毎の内訳)の整理と足跡の掲載。
  - ・ 座談会「これからの道展の課題と展望」(仮称)
    - ・ 記念誌は三十ページ前後、作品集は値上げせず三千円で販売予定。
- ③ 「写真コンテスト」の開催
  - ・ テーマ「わが家族の夏休み」(仮称)
  - ・ 一般市民を対象として、夏休みを楽しむ家族の写真を募集。サイズは2L。応募作品を道新ぎやらりー等で展示。
- ④ 審査委員長長の招聘
  - 第六十回写真道展審査委員長に、水越武氏を招聘依頼する。

このほか第六十回写真道展入賞・入選祝賀会を功労者表彰、来賓の招待等で記念展に相応しい内容にしていこうとした。

以上記念事業(案)については、支部長会議に提案し、承認されてから具体的内容の検討に入っていく予定です。

### 支部例会成績

#### 札幌 支部長 山本隆晟

▽八月例会十九日 宮川恵子審査員選考

- ①村上和子②奈良美弥子③裏征子④藤原富二夫
- ⑤大竹勝⑥高谷喜⑦笈川浩⑧紙谷重行⑨堀江和彦⑩中島多恵

▽九月例会十六日 加賀谷重雄審査員選考

- ①大竹勝②原慎子③大野カヨ子④村上和子⑤坂本幸夫⑥佐竹民夫⑦笈川浩⑧川端哲朗⑨裏征子⑩香取征子

▽十月例会二十一日 中野潤子審査員選考

- ①高谷喜②武田礼子③笈川浩④巖田祥健⑤裏征子⑥山本隆晟⑦水嶋和子⑧原慎子⑨山端鉄朗⑩難波江

▽十月例会十八日 谷口勲夫元道新写真部長選考

- ①高谷喜②田中稔③巖田祥健④村上和子⑤奈良美弥子⑥水嶋和子⑦高田和子⑧難波江⑨寺地栄⑩中島多恵

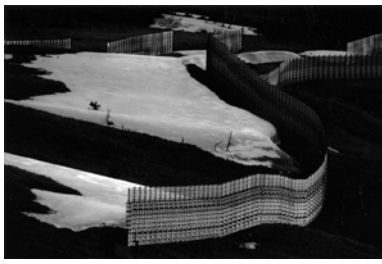
#### 釧路 支部長 高橋和幸

▽八月例会二十一日 工藤勇佐藤武治審査員選考

- プリントの部 ①岡本雄毅 峠の輝き ②浅海信一
- ③佐藤えみ子④北野宏幸⑤秋葉恵子
- スライドの部 ①北構善一郎②千葉弘子③大里清志④水谷博之⑤岡本雄毅

▽十月例会二十日 片村洋市工藤勇審査員選考

- プリントの部 ①岡本雄毅
- ②秋葉洋一③佐藤えみ子
- ④秋葉恵子⑤北構善一郎
- スライドの部 ①佐藤えみ子②千葉弘子③大里清志④北構善一郎⑤岡本雄毅



8月例会プリントの部1位 「峠の輝き」(カラー)岡本雄毅

#### 旭川 支部長 馬場和美

▽八月例会二十日 田村健太郎審査員選考

- (二席)佐藤繁雅(特選)伊藤勝利、白鳥敏昭、田中昭、三木芳男(入選)吉田祥子、瀨川敏雄、伊藤勝利、池田政人、川見英則

▽九月例会八日 志賀芳彦審査員選考

- (一席)池田政人(特選)小畑嘉則、本間秀昭、作田専、池田政人(入選)池田政人、三木芳男、菅原清弘、谷藤貞夫、阿部三重子

▽十月例会十三日 福田光男審査員選考

- (一席)吉田祥子(特選)池田政人、浦島寛、早坂藤男、田中昭(入選)瀨川敏雄、伊藤勝利、吉田祥子、山本寿子、池田政人

▽十一月例会十日 志賀芳彦審査員選考

- (一席)伊藤勝利(特選)山本寿子、浦島寛、菅原清弘、田中昭(入選)菅原清弘、池田政人、小畑嘉則、白鳥敏昭、吉田祥子

▽平成二十三年 年度賞

- (年度賞)池田政人(準年度賞)吉田祥子(最高作品賞)佐藤繁雅(奨励賞)伊藤勝利(敢闘賞)白鳥敏昭(新人賞)田中昭

#### 二笠 支部長 麻生哲之助

▽小樽方面撮影会(八月二十一日 武藤吉吉審査員選考) (推薦)石橋昭次郎「少年カメラマン」(特選)金武紀雄 谷内純哉(準特選)麻生哲之助、高橋英昭、古平文男

- ▽九月例会(二十二日) 審査互選 ①⑨古平文男 ②③高橋英昭 ④⑦石橋昭次郎 ⑤⑥伊藤修身 ⑧川原民也



小樽方面撮影会 推薦 石橋昭次郎「少年カメラマン」(カラー) 文男

#### 栗山 支部長 黒田幸則

▽六月例会(十五日) 山岸幸雄審査員選考

- ①③齋藤優子②会員外作品②③中島武士③高橋勝雄(入選)齋藤優子、中島武士、黒田幸則、高橋勝雄(会員外作品)6点

▽九月例会(二十日) 山岸幸雄審査員選考

#### 岩見沢 支部長 尾崎和男

▽七月例会(六日) 審査互選

- ①④広田広(二)②友広茂夫⑤田中克彦⑥山崎正義
- ⑦九月例会(七日) 審査互選
- ①広田広①田中克彦③④友広茂夫⑥木村克巳

#### 小樽 支部長 川原静雄

▽九月例会(七日) 滝野邦保審査員選考

- ①高橋省三(対決)②堀野正憲③鹿戸芳之④嵯峨秋雄⑤貝沼正雄⑥松居秀昭⑦小泉和子⑧小島捷栄⑨成沢克朗

▽十一月例会(二日) 本郷正利審査員選考

- ①貝沼正雄「稲刈り大好き」(カラー) ②高橋省三
- ③③小泉和子④鹿戸芳之⑤松居秀昭⑥嵯峨秋雄⑦岩田明美⑧堀野正憲



▲9月例会1位「対決」(カラー) 高橋省三

▼11月例会 1位「稲刈り大好き」(カラー) 貝沼正雄



▼九月例会(三日) 審査互選

#### 恵庭 支部長 西澤 實

▽九月例会(三日) 審査互選

- ①塩田直①※瀬戸喜信③※佐野ミヨ③吉村剛③田中康夫③※坂上隆敏⑦目黒健⑧五東建夫⑧吉村登美子⑩※大井マチ子⑩※上林悦子

▽十一月例会(五日) 加賀谷重雄審査員選考

- ①村井正人②目黒健③吉村剛④※伊藤徹也⑤五東建夫⑥高橋興之助⑦※瀬戸喜信⑧※長田登

#### 室蘭 支部長 佐々木 昇

▽七月例会(二十日) 佐藤明会友選考

- ①③成田正利②③三浦和希②大坪恵子③山田しげき(入選)山田清滋、大坪恵子、工藤司郎、佐藤俊晴、山田しげき、伊東克巳、三浦和希

▽九月例会(二十一日) 佐々木昇会友選考

- ①山田清滋②③長澤剛②③成田正利(入選)工藤司郎、三浦和希、山田清滋、佐藤俊晴、大坪恵子、佐藤秀勝

#### 余市 支部長 金子勝彦

▽八月例会(二十一日) 審査互選

- ①③石岡誠三②⑦平形秀哉③③丹野光雄④⑥金子勝彦⑤美濃英則⑥谷橋準一⑦⑨谷橋誠子⑧⑨近藤健一

▽九月例会(十八日) 審査互選

- ①⑥石岡誠三②⑦金子勝彦③④丹野光雄④⑥美濃英則⑤⑤谷橋準一⑥⑦谷橋誠子⑧近藤健一⑧⑨三戸弘利⑨後藤芳江

▽十月例会(十六日) 審査互選

- ①⑧石岡誠三②⑧平形秀哉③⑨三戸弘利④⑧美濃英則④⑥谷橋準一⑤⑦丹野光雄⑥⑩谷橋誠子⑦⑨青木延広⑦⑩近藤健一

▽十一月例会(二十日) 審査互選

- ①②美濃英則②⑦谷橋準一③⑧丹野光雄④④④三戸弘利④⑥石岡誠三⑧⑩谷橋誠子⑩⑩金子勝彦⑩⑩平形秀哉

#### 留萌 支部長 崎出恒夫

▽八月例会(七日) 審査互選

- ①③川上正巳②谷幹治②④畑忠幸

▽九月例会(四日) 審査互選

- ①畑忠幸②笹田健②②松葉師正③川上正巳

▽十月例会(二日) 審査互選

- ①④笹田健②崎出恒夫③畑忠幸

▽十月例会(三十日) 審査互選

- ①松葉師正②畑忠幸③澤岡政江④加藤美佳

#### 編集後記

次号は四月を予定しております。平成二十三年もあとわずかとなりました。会員の皆様、よき新年をお迎え下さい。 森田